

幼児期の体験応援プロジェクト

趣旨：幼児が主体的に活動できる「場」と「きっかけ」を設け、幼児の主体的な活動を促すことや、家庭教育支援に資することを目的として、幼稚園・保育園を対象に実施する。

期間：令和3年10月～12月
 対象：胆振日高管内の幼稚園、保育園、認定こども園（70園）
 実施数：19園 562名



内容：楽しく体を動かして遊ぶ「36の基本的な動き」を取り入れた運動遊びを忍者修行に見立てて提供するとともに、「早寝早起き朝ごはん」国民運動の普及啓発として「よふかしおにとはやねちゃん」の紙芝居の読み聞かせを行った。また、当施設まで来られない園には出前教室を実施した。



【成果】

- コロナ禍ではあるものの、多くの依頼があり、19園で事業を実施することができた。
- 「早寝早起き朝ごはん」の資料配布、紙芝居の読み聞かせを通して「早寝早起き朝ごはん」国民運動の普及啓発をすることができた。
- アンケートでは、「忍者をモチーフにすることによって子どもたちは楽しく取り組むことができた」や「体を動かすことだけではなく、体を動かすために早寝早起きが必要なことなどとても大切なことを伝えていただいた」などの記載があり、満足度は94%と高い評価を得ることができた。

【課題】

- 今年度はコロナ禍のため、募集範囲は昨年と同じであった。来年度の感染状況によっては、より多くの園で実施するために募集する地域を広げることも検討したい。